

## 平成 30 年度 第 1 回美祢市廃棄物減量等推進審議会 会議結果

日 時：平成 30 年 10 月 17 日（水） 9 時 55 分～11 時 30 分

場 所：美祢市保健センター（1 階健康増進室）

出席者：廃棄物減量等審議会委員（今井会長ほか委員 8 名）

※出欠席については、別紙 1 のとおり

事務局（大野市民福祉部長、古屋生活環境課長ほか 4 名）

合計 15 名

### 要旨（概略）

#### 1 開会

古屋生活環境課長により開会

#### 2 あいさつ

今井会長よりあいさつ

#### 3 事務局紹介

事務局職員自己紹介

#### 4 議事

##### ◆付議事項

##### (1) 平成 29 年度 廃棄物処理の実績について

事務局より資料に基づき説明

##### 【委員の質問】

美祢地域と、美東地域、秋芳地域を比較すると家庭ごみの収集運搬量が多いのは、何か特別な事業があるのか？

##### 【事務局の回答】

美祢地域には商店も多く、家庭ごみの収集運搬量が増える傾向にある。また、美東地域に比べ、美祢地域はごみ集積所も多く、ごみが出しやすい状況にあるが、データの裏付けはない。なお、年度によって、地域ごとの収集運搬量にも増減がある。

##### 【会長の質問】

衛生センターで受け入れたし尿 4, 152 キロリットルと浄化槽汚泥 11, 303 キロリットルについて、脱水後、最終的にセメント工場で資源化する汚泥の量はどのくらいか？ また、カルストクリーンセンターに搬入された量は 6, 610 トンであるが、これもセメント工場へ売却した R D F の製造量はどのくらいか？

**【事務局の回答】**

衛生センターでの資源化量は、手元に資料が無いので後日回答する。カルストクリーンセンターのRDF製造量は4,558トンである。

※衛生センターでの資源化量：564トン

**【委員の質問】**

秋芳地域は、収集日が祝日となった場合は収集を行わないのか？

**【事務局の回答】**

秋芳地域では、可燃系（固形燃料化できる）ごみの収集日が、祝日となった場合は収集を行わないが、不燃系（固形燃料化できない）ごみの収集日については、日程の調整をして、必ず通常と同じ回数の収集を行っている。

**(2) 美祢市の廃棄物処理の統一（素案）について**

事務局より資料に基づき説明

**【委員の質問】**

③の統一案では、茶色、透明、その他の色を各色月1回ずつとあるが、例えば4月が茶色、5月が透明というような収集方法に変わるのか？

**【事務局の回答】**

現在、美東、秋芳地域では、例えば第一月曜日が茶色、第二月曜日が透明、第三月曜日がその他の色というように、びんだけでも毎月3回の収集がある。その方法を、今回の統一案とした。

**【委員の質問】**

④の統一案の指定容器とは、ごみ袋のことか？

**【事務局の回答】**

指定ごみ袋のことである。不燃系（固形燃料化できない）ごみであれば、透明で、緑色の字が書いてある指定の袋である。

**【委員の意見】**

自分は秋芳地域に住んでいるが、今でも祝日が月曜日になることが多く、その場合は、可燃系（固形燃料化できる）ごみの収集は週2回であるが、特に問題はない。缶類も、月2回が月1回になっても問題はない。それよりも、独居高齢者のごみ出し問題の方が課題となっている。

**【会長の意見】**

収集回数を減らすと、ごみ集積所が溢れるおそれがあるので、その対策を講じ

る必要があると考える。

**【委員の意見】**

ごみ集積所から溢れたごみを、カラス等が荒らすことへの対策については、自分達の自治会では、自分達で網を買うなどして対応しているが、それよりも、ごみ集積所への不法投棄に困惑している。

**【委員の意見】**

秋芳地域で、週3回を週2回、月2回を月1回の収集回数に変更すると、やはり溢れるごみ集積所はある。美東地域のように建屋のごみ集積所ならいいが、秋芳地域はほとんどが籠タイプなので、収集日が1回無いと、ごみが散乱する可能性がある。一度変更してしまうと、やっぱり前の方法が良かったということになってはいけないので、よく検討してから実施する必要があると思う。

**【事務局の回答】**

秋芳地域では、観光地ということもあり、祝日の収集が難しい場合などは、柔軟に対応していきたいと考えている。

**【委員の質問】**

缶類を出す場合は、潰して出したら何か弊害があるのか？

**【会長の意見】**

収集の際には、潰した方がコンパクトになるので良いが、収集後に選別等をすす際には、潰れていると分別機械を通す時に困難だと聞いたことがある。

**【委員の質問】**

美東地域では、段ボールは集積所のコンテナに入れるようになっているが、紐で縛って出してはいけないのか？

**【事務局の回答】**

美東地域では、集積所のコンテナに入れるようになっている。美祢、秋芳地域はリサイクルステーションに出す方法であるため、今回、素案を出したものの以外の統一についても、今後検討したい。

**【委員の意見】**

びん類、缶類について、指定ごみ袋での収集となると、袋という新たなごみを発生させることにもなるので、できれば、美東、秋芳地域のコンテナはそのまま残した方が良く思う。

#### 【会長の意見】

元々あるコンテナを有効活用することについては、その方が良いが、ゴミ袋を購入する市民との費用負担の公平化については、ゴミ袋を無償配布するなど、何らかの方法を検討する必要がある。

#### 【委員の意見】

美祢地域では、びん類の日に、茶色、透明、その他の色に分別して袋に出していれば、すべて収集される方法だが、それぞれの日に分けられると、ゴミを出す日が増えるので、かえって不便になるのではないかと？ また、その分収集に係るコストが増えるのではないかと？

#### 【事務局の回答】

美祢地域では、毎日どこかの地区で可燃系、不燃系のごみ収集を行っており、収集ルートを検討を行えば、それほどコストも増えないのではないかと考えている。

#### 【会長より会議の総括】

3種類のびんを、すべて同じ日に収集する場合、収集後の分別の手間がかかっていると思うので、収集日を色別に分けることにより、分別の効率化は図ることができる。その効率化のため、市民に御協力いただくのか、それとも、収集日を分けることによる市民の不便さが増すことと、どちらに重きを置くのか、説明ができるようにする必要がある。ある程度の収集日の案を作成し、その案を美祢地域の住民に聞いてみてはどうか。

素案の①、②については、ごみ集積所が溢れることの無いような状況を回避する方策を検討し、③、④については、引き続き検討を続け、次回に繋げていきたい。

#### (3) その他

次回会議については、平成31年3月頃を予定

## 5 開会

古屋生活環境課長により閉会（11時30分）